

経過報告について

平成29年10月24日に、三河湾沿岸の環境・生活・産業を守る会（通称「三河湾を守る会」）から市長に対して、新たな産業廃棄物最終処分場の建設反対などを求める要望書が提出されました。

要望の要旨等については、次のとおりです。

【要望要旨（抜粋）】

南海トラフ地震による液状化で産廃の散乱により、三河湾の漁業、沿岸の養鰻業、住民の生活環境の悪化等想像されます。また、交通量の増大により、生活道路機能への甚大な影響が軟弱な道路と家屋への被害につながります。

市長におかれましては、私たち市民の声をご検討くださるとともに、愛知県に対して産廃処分場建設の中止を強力に推し進めていただくようお願い申し上げます。

※三河湾沿岸の環境・生活・産業を守る会の概要

一色町生田地区で建設が予定されている新たな産業廃棄物処分場の建設阻止と、生田地区の産廃跡地問題の解決を促すための活動を行い、良好な環境の保全に努めることを目的として、平成27年10月23日に地元住民を中心に設立された団体です。

同会は、漁協や各種団体などの支援を受け、これまでに新規産廃処分場建設反対の署名活動や要望書の提出を実施されています。

◀ これまでの主な活動内容 ▶

- ・平成27年11月、愛知県知事及び愛知県議会議長宛に新規産廃処分場建設反対の署名及び要望書を提出
 - ※署名 20, 535人分（主に、一色地区の市民を対象）
- ・平成28年9月、愛知県知事宛に、新規産廃処分場建設反対の署名及び要望書を提出
 - ※署名 26, 470人（主に、一色地区以外の市民を対象）
- ・平成28年12月、環境大臣宛に、新規産廃処分場建設反対の署名及び要望書を提出
 - ※署名 26, 470人（主に、一色地区以外の市民を対象）
- ・産廃反対ののぼり旗による啓発活動 など